

2012年2月10日発行

チーフストラテジスト伊藤嘉洋の 2/13週の相場見通し —反騰相場は新たな局面入り

今週は、自律調整の一巡から日経平均は昨年10/28以来3カ月ぶりに9,000円の大台に乗せた。世界的な金融緩和や米景気の回復期待からNYダウが2008年5/2以来の高値を付けたことや円高に一服感が出たことが好感されたようだ。さらに、ギリシャの債務削減協議が合意に近づいているとした楽観的な見方も投資家心理の改善につながり、日経平均9,000円台乗せの支援材料となった。日経平均は昨年12/7の戻り高値(8,729円)を上回ったことで、反騰相場は新たな局面に入ってきたとみている。

日経平均の9,000円乗せの主因は、NYダウの上昇効果が大きい。1月米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想の15万人を大幅に上回る24.3万人に改善したことや失業率も8.3%と5か月連続で低下し、米景気が予想以上に回復しているとの見方が強まったことが背景である。欧州の債務不安がくすぶり続けているとはいえ、米国の景気回復の足取りが一段と力強さを増すなど、世界経済の先行きに対する警戒感はやや和らいできたといえる。

国内では、第3四半期の決算発表が一巡した。今期の業績見通しで予想外の下修正を発表した企業もかなりみられた一方、米景気回復による輸出の増加と円安により、来期の企業業績向上への期待感が株価を支えたともいえよう。実際、12年3月期の業績見通しの上方修正発表を受けて、トヨタ自動車の株価が上昇したことからも見てとれる。

需給面では、引き続き外国人投資家動向が注目される。昨年末週から6週連続で5,676億円の買い越しとなっている。日本のファンダメンタルズの回復に比べて、株価の出遅れ感から上昇余地が大きいとみて、外国人投資家がロングポジションを取りにきている可能性が考えられる。

テクニカル指標面では、25日、75日移動平均線に続き、13週、26週移動平均線も来週後半にはゴールデンクロスが形成されそうだが、今回ゴールデンクロスが形成されれば、昨年4月のデッドクロス以来10か月ぶりとなる。週足のゴールデンクロスは、中長期上昇相場のシグナルとされるだけに注目される。因みに、2010/8/31に日経平均は8,824円の安値を付けた後、踊り場となり、11月にゴールデンクロスを形成した。その後、2011/2/21の高値(10,857円)まで23%の上昇相場になった。今回、これに当てはめると日経平均は昨年11/25の安値(8,160円)を基点として今年5月ごろには10,036円に達することになる。

結論的には、来週の日経平均は戻りを試す展開から、上値は昨年10/31ザラ場高値の9,152円、下値は節目の8,800円がサポートラインとして機能するとみている。ただ、下降中の200日移動平均線(9,057円2/10)が上値抵抗の壁となり、上昇ピッチの速さから短期的なスピード調整となる可能性は考慮しておきたい。



出所：岡三ネットトレーダープレミアム

来週の主なスケジュール

【日本】

- 2/13(月) 10-12月期GDP
- 2/14(火) 12月鉱工業生産指数
日銀金融政策決定会合(13日～)
- 2/16(木) 1月首都圏マンション販売
- 2/17(金) 1月日本製半導体製造装置BBLレシオ

【欧米】

- 2/14(火) ユーロ圏12月鉱工業生産指数
米1月輸入物価指数
米1月小売売上高
米12月企業在庫
- 2/15(水) 米2月NY連銀製造業景気指数
米1月鉱工業生産指数
米1月設備稼働率
米2月NAHB住宅市場指数
FOMC議事録公開
ユーロ圏10-12月GDP
- 2/16(木) 米1月生産者物価指数
米1月住宅着工件数
米2月フィラデルフィア連銀景気指数
米新規失業保険申請件数
- 2/17(金) 米1月消費者物価指数
米1月景気先行指標総合指数

OKASAN ONLINE SECURITIES CO.,LTD.

- ・本投資情報は、情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本投資情報の掲載情報の正確性・妥当性等について、岡三オンライン証券およびその情報の提供者が一切保証するものではありません。ご投資の最終決定は、お客様ご自身の知識、経験、投資目的、資産状況等に適う範囲で、ご自身の判断と責任で行ってください。
- ・本投資情報によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。
- ・本投資情報は、いかなる目的であれ当社の許可なく転用・販売することを禁じます。
- ・最終ページの『取り扱い金融商品に関する留意事項』を必ずご確認ください。

【取り扱い金融商品に関する留意事項】

●商号: 岡三オンライン証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長(金商)第52号

●加入協会: 日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

●リスク:【株式等】株価変動による値下りの損失を被るリスクがあります。信用取引、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引では投資金額(保証金・証拠金)を上回る損失を被る場合があります。株価は、発行会社の業績、財務状況や金利情勢等様々な要因に影響され、損失を被る場合があります。投資信託、不動産投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等は、裏付け資産の評価額(指数連動型の場合は日経平均株価・TOPIX等)等、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引は対象指数等の変化に伴う価格変動のリスクがあります。外国市場については、為替変動や地域情勢等により損失を被る場合があります。上場新株予約権証券は、上場期間・権利行使期間が短期間の期限付きの有価証券であり、上場期間内に売却するか権利行使期間内に行使しなければその価値を失い、また、権利行使による株式の取得には所定の金額の払込みが必要です。株価指数証拠金取引では建玉を保有し続けることにより金利相当額・配当相当額の受け払いが発生します。【FX】外国為替証拠金(保証金)取引は預託した証拠金(保証金)の額を超える取引ができるため、対象通貨の為替相場の変動により損益が大きく変動し、投資元本(証拠金)を上回る損失を被る場合があります。外貨間取引は、対象通貨の対円相場の変動により決済時の証拠金授受の額が増減する可能性があります。対象通貨の金利変動等によりスワップポイントの受取額が増減する可能性があります。ポジションを構成する金利水準が逆転した場合、スワップポイントの受取から支払に転じる可能性があります。為替相場の急変時等に取引を行うことができず不測の損害が発生する可能性があります。【各商品共通】システム、通信回線等の障害により発注、執行等ができず機会利益が失われる可能性があります。

●保証金・証拠金:【信用】最低委託保証金30万円が必要です。信用取引は委託保証金の額を上回る取引が可能であり、取引額の30%以上の委託保証金が必要です。【先物・オプション】発注必要証拠金および最低維持証拠金は、「(SPAN証拠金額×当社が定める掛け目)ーネットオプション価値の総額」とし、選択取引コース・取引時間によって掛け目は異なります。当社のWebサイトをご確認ください。また、変更の都度、当社のWebサイトに掲載いたします。【株価指数証拠金取引】発注証拠金(必要証拠金)は、株価指数ごとに異なり、取引所により定められた証拠金基準額となります。同取引所は毎週の第一取引日を算出日として、翌週の取引日に適用される証拠金基準額を算出し、公表します。Webサイトで最新のものをご確認ください。【FX】発注証拠金(必要保証金)は、取引所FXでは取引所が定める証拠金基準額に選択レバレッジコースに応じた所要額を加えた額とし、店頭FXでは取引額の4%とします。発注証拠金に対して1取引単位(1万又は10万通貨)の取引が可能です。発注証拠金・取引単位は通貨ごとに異なります。取引所FXの為替証拠金基準額は、取引所により毎週の最終の取引日から遡る5取引日における取引所為替証拠金取引の為替清算価格の平均値に基づき毎週算出されます。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●手数料等諸費用の概要(表示は税込):【日本株】取引手数料には1注文の約定代金に応じたワンショットと1日の合計約定代金に応じた定額プランがあります。上限手数料は、現物ではワンショットが1,260円、定額プランが約定代金100万円以下で上限780円、以降約定代金100万円ごとに420円加算、また、信用ではワンショットが400円、定額プランが約定代金200万円以下で上限が630円、以降約定代金100万円ごとに315円加算します。手数料プランは変更可能です。信用取引手数料は月間売買実績により段階的減額があります。信用取引には金利、管理費、権利処理等手数料、品貸料、貸株料の諸費用が必要です。【上場新株予約権証券】日本株現物のワンショットに準じます。【中国株】国内取引手数料は約定金額の1.05%(最低手数料5,250円)。この他に香港印紙税、取引所手数料、取引所税、現地決済費用の諸費用が必要です。【先物】取引手数料は、日経平均株価先物が1枚につき315円(取引枚数により段階的減額あり)、日経225miniが1枚につき42円です。【オプション】売買手数料は、約定代金に対して0.168%、最低210円です。【株価指数証拠金取引】取引手数料は、1枚につき157円です。【投資信託】お申込みにあたっては、当該金額に対して最大3.675%の申込手数料をいただきます。換金時には基準価額に対して最大0.75%の信託財産留保金をご負担いただく場合があります。信託財産の純資産総額に対する信託報酬(最大2.4525%(年率))、その他の費用を間接的にご負担いただきます。また、運用成績により成功報酬をご負担いただく場合があります。詳細は目論見書でご確認ください。【FX】取引所FX通常コースの取引手数料は1取引単位あたり100円(取引枚数により段階的減額あり)です。1倍コースでは1取引単位あたり1,050円です。店頭FXは無料です。スプレッドは、通貨ごとに異なり、為替相場によって変動します。Webサイトで最新のものをご確認ください。

●お取引の最終決定は、契約締結前交付書面、目論見書等およびWebサイト上の説明事項等をよくお読みいただき、ご自身の判断と責任で行ってください。